



「感染症 正しい知識と予防」

西アフリカでのエボラ出血熱の流行は、世界のボーダレス化に伴い、感染症対策には世界全体で取り組むべき必要性が益々大きくなっていることを改めて教えてくれています。ともすれば感染症のニュースは人々をいたずらに不安に陥れる傾向がありますが、恐れるのではなく、疾病とその予防法についての正しい知識の下に、正しい情報に基づいた冷静な対処こそが求められています。

企業、健保組合、行政の健康啓発関係者や一般市民の皆様のご参加をお待ちしております。



(地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2号・9号出口)

◆日時 **平成27年2月12日(木)** 14:00～16:30

◆会場 **大阪歴史博物館 4階 講堂** (大阪市中央区大手前4-1-32)

◆参加費 500円(資料代として) ◆申込先着順 **200名**

●開会の挨拶 公益社団法人 日本WHO協会理事長 **関 淳一 氏**

●講演「インフルエンザを含めた国内の感染症流行について」

講師：大阪府済生会中津病院 臨床教育部 部長 **安井 良則 氏**

●講演「エボラ出血熱を含めた世界の感染症流行について」

講師：国立感染症研究所 感染症疫学センター 第二室長 **砂川 富正 氏**

●パネルディスカッション (質疑応答)

参加ご希望の方は **Fax(06-6944-1136)** またはホームページよりお申し込みください。

<http://www.japan-who.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=seminar1>

後援(予定)：大阪府・大阪市・大阪府医師会・大阪府歯科医師会・大阪府薬剤師会・大阪府栄養士会

主催：**公益社団法人 日本WHO協会** 大阪薬業クラブ助成事業